

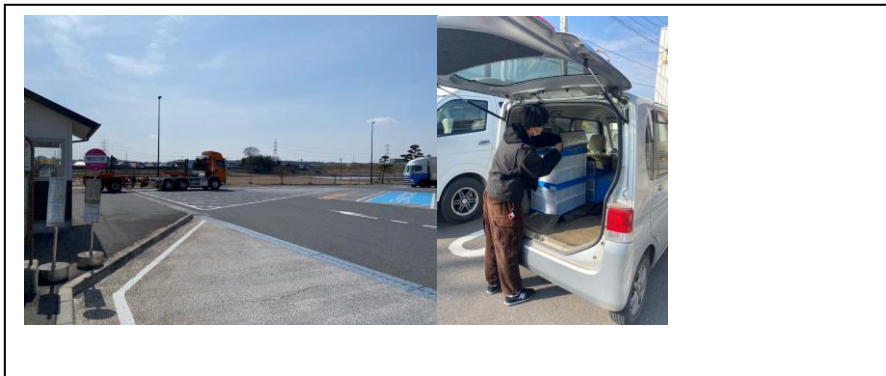
2022年4月1日

報道関係各位

かけわ株式会社

新しい流通構造の確立による地域活性化を目指す
千葉交通の高速バスの荷台を活用した貨客混載事業がスタート

かけわ株式会社(代表取締役 高木俊雄：千葉県香取市)と千葉交通株式会社(代表取締役社長 白土一道：千葉県成田市)は、Covid-19をきっかけとして新たな流通構造の確立を目的とした貨客混載事業を共同でスタートしました。この事業により、既存の流通から取りこぼされている中小事業者による生産物と都市部を結び、販路拡大に資することを通して地方活性化に役立ててまいります。



かけわ株式会社では、地方の農畜産物の高付加価値化を目的としたマルシェの運営やチーズ/ビールの製造を行っております。地方と都市部を結び、都市部の消費者に対してストーリーのある製品を販売することで地方の生産者の販路拡大と生産物の高付加価値化を行っています。

このたび、新たに千葉交通株式会社が運行する高速バスの荷台を活用した農畜産物の輸送を開始することになりました。この取り組みによりこれまで小ロットがゆえに取りこぼされていた生産物の新たな流通構造を確立し、地方の生産者の新たな販路構築を行います。2022年4月7日より第一便を運航し、まずは千葉県香取市産の新鮮な野菜を輸送します。今後は自社で製造したチーズの輸送や、千葉県香取市のみならず他地域へ展開し、日本全国の地方の生産物が都市部へ集まる流通構造の確立を目指します。

【千葉交通株式会社の高速度バス】

1937年のバス事業開始以降、千葉と東京を結ぶ高速バスを運行し、沢山の人の運んできました。新型コロナウイルスの感染拡大により地方と都市部の人の移動が減少していることを踏まえ、新規事業として本取り組みを行うことで、地方活性化を目指します。